

愛知県の自殺対策の主な取組について

施策体系		事業名等	ページ
ライフステージ別対策	就学期の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層自殺対策啓発事業 ・若年層自殺対策相談対応人材育成研修 ・大学生向け自殺予防啓発事業 	1
自殺ハイリスク者群への対策	精神疾患患者	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病家族教室 ・生活困窮者対策対応者研修 ・多重債務者対応者研修 ・依存症回復支援事業 	2
その他保護因子を高める対策	相談体制	<ul style="list-style-type: none"> ・あいちこころほっとライン365事業 	3
自死遺族支援対策	自死遺族	<ul style="list-style-type: none"> ・自死遺族支援対策関連事業 	4
新型コロナウイルス感染症にかかる自殺防止対策		<ul style="list-style-type: none"> ・県民向け知事メッセージ ・周知・啓発 ・SNS相談「あいちこころのサポート相談」事業 	5

ライフステージ別対策 — 就学期の取組

若年層自殺対策啓発事業

「SOSの出し方に関する教育」を推進するため、中学・高校生及びその保護者向け啓発リーフレットを配布します。

配布部数：2020年度 575,100部（公立）、166,100部（国立・私立）

※2021年度 569,920部（公立）、164,400部（国立・私立）

※公立学校は教育委員会、国立・私立学校はこころの健康推進室より配布。



若年層自殺対策相談対応人材育成研修

保健所、市町村職員及び教育関係者に対し、若年層の自殺予防のための知識や対応方法及び、保健、教育双方の連携を促進するための研修会を開催します。

2020年度：2020年12月22日

参加者 72名（保健関係者25名、教育関係者47名）

講師 奈良女子大学大学院 非常勤講師 阪中順子氏

※2021年度：2021年12月27日 Web開催（予定）

大学生向け自殺予防啓発事業

生活環境や人間関係、アルコールの摂取の機会の発生など、大きな環境の変化に直面する大学生に対して、不適切な飲酒の防止やメンタルヘルスの重要性を周知する出前講座の開催や、教員に対し、若者のメンタルヘルス対策の研修会を開催します。

2020年度：3大学3講座 受講者数189名

※2021年度：3大学3講座（予定）

ハイリスク者群への対策 - 精神疾患患者

うつ病家族教室

うつ病の方の家族を対象に、正しい知識や本人への対応方法を学ぶ研修会や、問題を共有し孤独感・不安の解消を図るための交流会を実施します。

2020年度：家族教室・つどい

延べ11回（各保健所にて実施）

※2021年度：家族教室は本庁において集約して実施予定
（Web研修）

多重債務者対応者研修

多重債務者の相談にあたる司法書士を対象としたゲートキーパー養成研修を実施します。

・動画配信（2021年3月19日～） 受講者29名

①共感的な相談技法について

②自殺対策基本法の概要とそれに基づくゲートキーパーの役割について

※2021年度：対面で開催予定

生活困窮者対策対応者研修

生活困窮者等の支援においてメンタルヘルスの視点を持ち対応できる人材を養成するための研修を実施します。

2020年度：①～③講師派遣 ④研修開催

①生活保護関係職員向け（中止）

②生活保護査察指導員向け（中止）

③相談支援員・就労支援員向け（2021年2月16日）
Web開催 23名

④自治体・支援団体・医療・福祉関係職員向け
対面・Web開催（2021年3月8日） 21名

※2021年度：①2021年5月20日 配信、
②2021年7月9日 Web開催
③2021年9月17日 Web開催
④年明けに開催予定

依存症回復支援事業

回復支援プログラム	①あいまーぷ	②ART-G
実施機関	県精神保健福祉センター	
対象者	依存症等からの回復を希望する当事者	
	アルコール依存症、 薬物依存症	ギャンブル等 依存症
実施日	毎週水曜日 ※年末年始、祝日を除く	毎月第2火曜日
内容	ワークブックを用いたグループワーク	
2020年度 延べ参加者数	222名	87名

その他の保護因子を高める対策 — 相談体制

あいちこころほっとライン365

「うつ」や人間関係の悩みなどこころの悩みに関する年中無休の電話相談を実施しています。

○受付時間：

毎日 9時～16時30分

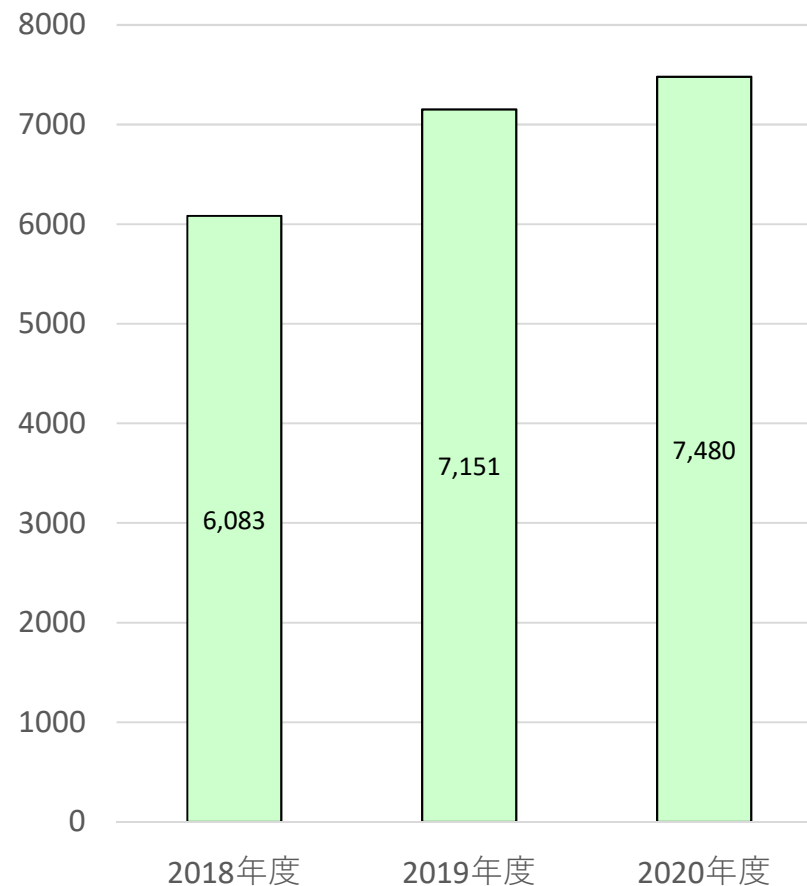


毎日 9時～20時30分 (2021. 7. 16～)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による自殺リスクの高まりを踏まえ、受付時間及び回線数を拡充。



年度別相談件数



自死遺族支援対策

自死遺族の方に対しての支援の推進を図るとともに、県民に自死遺族の方々への配慮について理解の促進を図ります。

自死遺族面接相談

実施機関：県精神保健福祉センター又は保健所

相談日：センター 毎月第3木曜14時～15時30分

保健所 電話予約後相談

対象者：愛知県内在住の方（名古屋市を除く）

相談対応者：保健師、精神保健福祉相談員

相談件数：2020年度 センター 延べ60件

保健所 延べ2件

自死遺族の自助グループ等への支援

自死遺族への支援や一般県民への普及啓発を行うため、自助グループ等の民間団体の活動に助成を行う。

【2021年度補助予定】

- リメンバー名古屋自死遺族の会
 - …遺族会(4・8・10・12・2月)、出張遺族会(11月)
- ～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室
 - …講座及び遺族会(9・11・1月)
- NPO法人After the Rain
 - …深夜電話相談（毎週火曜日22時～翌4時）

相談窓口担当者の資質向上研修

自死遺族相談に対応する職員の資質向上を図るための研修会を開催します。

実施機関：県精神保健福祉センター

対象者：保健所、市町村、相談支援事業所、福祉相談センター等の職員

回数：年1回

2020年度：2021年1月28日

Web開催 参加者48名

講師 兵庫県こころのケアセンター
センター長 加藤 寛 氏

～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室

代表理事 吉田 ゆり 氏

※2021年度：2021年8月27日

Web開催 参加者 131名

新型コロナウイルス感染症にかかる自殺防止対策

県民向け知事メッセージ

2020年8月の自殺者の急増を踏まえ、かけがえのない命を守るために知事から県民向けに緊急メッセージを発出した。

発出日：2020年9月14日

知事定例記者会見

※ 2021年8月23日 再度メッセージ発出

周知・啓発

○ポスター・カードの作成・配布

通常の啓発（相談窓口周知用リーフレット等）に加え、新たにポスター・カードを作成配布した。

作成部数：ポスター 1,520部
カード 188,000部

配布先：県内私立高校・県内大学、ハローワーク、相談支援機関等

○インターネット広告

掲載回数：年4回×1週間

広告方法：検索連動型広告、ディスプレイ広告

※2021年度も同様に実施予定



(2020年度作成版)

SNS相談「あいちこころのサポート相談」事業

開始年月日：2020年11月5日

相談時間：月～土曜日 20時～24時

日曜日 20時～翌月曜8時

相談体制：相談員2名、スーパーバイザー（SV）1名

※2021年4月から20時～24時の相談員を3名体制とする。

対象者：県内在住、在勤、在学の方

相談実績：（2020年11月5日～2021年3月31日）

➤年齢別アクセス数・相談件数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	答えたくない	未回答	合計
アクセス数	49	554	579	755	720	422	116	45	58	436	3,734
相談件数	12	342	369	500	402	195	52	18	46	—	1,936

➤性別相談件数・割合

	男性	女性	答えたくない	合計
相談件数	532	1,368	36	1,936
割合(%)	27.5	70.6	1.9	100

➤主な相談内容

- ・健康、家族、勤務関連の相談が多い。男性は経済の相談も多い。
- ・新型コロナウイルス感染症への不安等から気持ちが不安定になっているケースも目立つ。※コロナ関連相談 約175件（累計）

➤事例紹介：SNS相談から、地域支援へつなぐための連携